

臨床医学

麻酔科学講座

[付属病院麻酔科]

研究概要

本年度は新たな基盤研究テーマである．1) 全身麻酔の機序と新たな麻酔薬の開発，2) ショックの病態生理解明と重症化阻止，3) 慢性痛の機序解明と頑痛一掃についての研究が進展し，成果が報告されてきた．また，従来からの研究テーマである，外科侵襲制御，麻酔と循環制御，ペインクリニック，集中治療と呼吸管理に関する研究も継続して行われた．以下に本年度の主な研究内容を示す．基礎研究：1) 全身麻酔による脳内日内変動遺伝子発現への影響，2) 吸入麻酔による肺血管作動因子に及ぼす影響，3) 静脈麻酔による好中球アポトーシスへの影響，4) 神経因性疼痛に対する硬膜外ブロックの神経伝導因子への影響，5) アゴニストによる疼痛抑制機序，6) 人工赤血球による蘇生効果と炎症反応への影響．臨床研究：1) 心原性ショックと抗メディエータ対策，2) 外科系集中治療におけるNPPVの応用，3) 幻視痛に対する新たな治療戦略，4) 鏡視下手術における麻酔管理法，5) 周術期頻脈性不整脈に対する新たな治療戦略，6) 長期人工呼吸管理における適切な鎮静，7) 周術期循環変動の新たな指標の開発，8) その他，医療安全管理，感染対策，医療経済等についてもも有用な研究がなされた．

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) Nakazato K, Kim C, Terajima K, Murata S1), Fujitani H, Nakanishi K, Tajima H1), Kumazaki T1), Sakamoto A(1)Department of Radiology/Center for Advanced Medical Technology, Nippon Medical School): Large volume loading to prevent cisplatin-induced nephrotoxicity during negative-balance isolated pelvic perfusion. *Journal of Cancer Research and Clinical Oncology* 2007; 133(10):741-747.
- 2) Akada S, Fagerlund MJ1), Lindahl SG1), Sakamoto A, Prabhakar NR2), Eriksson LI1)(1)Dept. of Anesthesiology and Intensive Care Medicine, Karolinska Institutet, 2)Center for Systems Biology, University of Chicago): Pronounced depression by propofol on carotid body response to CO₂ and K⁺-induced carotid body activation. *Respiratory Physiology & Neurobiology* 2007; 160(3):284-288.
- 3) Bitoh H1), Nakanishi K, Takeda S, Kim C, Mori M, Sakamoto A(1)Dept. of Anesthesiology, Musashi-Kosugi Hospital): Repair of an infrarenal abdominal aortic aneurysm is associated with persistent left ventricular diastolic dysfunction. *Journal of Nippon Medical School* 2007; 74(6):393-401.
- 4) Suzuki M1), Haraguchi S2), Kitamura A1), Shimada Y1), Sakamoto A(1)Dept. of Anesthesiology, Musashi-Kosugi Hospital, 2)Dept. of Surgery, Musashi-Kosugi Hospital): Inflation of the Distal Cuff by Saline Reduces the Incidence of Malposition of the Bronchial Tube During Lung Separation in Patients Receiving Nitrous Oxide. *Journal of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia* 2007; 21(6):838-842.
- 5) Kobayashi K, Takemori K, Sakamoto A: Circadian gene expression is suppressed during sevoflurane anesthesia and the suppression persists after awakening. *Brain Research* 2007; 1185:1-7.
- 6) Sato C, Sakai A1), Ikeda Y1), Suzuki H1), Sakamoto A(1)Dept. of Pharmacology): The prolonged analgesic effect of epidural ropivacaine in a rat model of neuropathic pain. *Anesthesia & Analgesia* 2008; 106(1):313-320.
- 7) Yoshida Y1), Terajima K1), Sato C1), Akada S1,2), Miyagi Y2), Hongo T1,2), Takeda S1,2), Tanaka K2), Sakamoto A1)(1)Department of Anesthesiology, Nippon Medical School, 2)Division of Intensive and Coronary Care Unit, Nippon Medical School Hospital): Clinical role and efficacy of landiolol in the intensive care unit. *Journal of Anesthesia* 2008; 22(1):64-69.
- 8) Takemori K, Kobayashi K, Sakamoto A: Expression of pulmonary vasoactive factors after sevoflurane anesthesia in rats: a quantitative real-time polymerase chain reaction study. *British Journal of Anaesthesia* 2008; 100(2):190-194.
- 9) 岡部 格, 金 徹, 山梨義高, 坂本篤裕: 腹腔鏡下前立腺全摘術と開腹前立腺全摘術の麻酔管理方法の検討. *麻酔* 2007; 74(6):1404-1407.

(2) 総説:

- 1) 竹田晋浩: BiPAP . 人工呼吸の換気モード . 呼吸器ケア 2007; 9(5):79-84.
 - 2) 竹田晋浩: ARDS/ALI の診断 . 特集 : ARDS/ALI . . 人工呼吸 2007; 24(1):3-8.
 - 3) 坂本篤裕: ベータブロッカーの有用性について . 臨床麻酔 2007; 31(6):1039-1041.
 - 4) 金 徹, 坂本篤裕: 動脈穿刺/動脈圧測定:動脈カテーテル, 術式別部位の選択と合併症. LiSA 2007; 14(7):636-641.
 - 5) 竹田晋浩: Dexmedetomidine , 呼吸管理への応用. Anesthesia 21 century 2007; 9(9):79-84.
 - 6) 金 徹: 補助循環作動時の麻酔科医の役割. 日本臨床麻酔学会誌 2007; 27(7):665-674.
 - 7) 竹田晋浩: 心疾患診療のトピックス ,NPPV による呼吸管理の治療と予後. ICUとCCU 2007; 31(11):843-847.
 - 8) 竹田晋浩: NPPV の利点と適応 : 必ずわかる人工呼吸器換気モードと呼吸モニタ波形. 月刊ナーシング 2007; 27(12):58-62.
 - 9) 坂本篤裕: 心原性ショックと抗メチエータ対策. ICUとCCU 2008; 32(1):33-41.
- (3) 症例報告:
- 1) Kim C, Yokozuka M, Sato C, Nakanishi K, Kitamura A, Sakamoto A: Incessant non-sustained ventricular tachycardia after stimulus of electroconvulsive therapy with atropine premedication?. Psychiatry and Clinical Neurosciences 2007; 61(5):564-567.
 - 2) 中里桂子, 本郷 卓, 金 徹, 寺嶋克幸, 竹田晋浩 1), 坂本篤裕 (1) 付属病院集中治療室): 抜管後換気不全から negative pressure pulmonary edema を発症した 2 症例. 日本臨床麻酔学会誌 2007; 27(3):268-272.
 - 3) 佐藤千代, 河原裕泰, 金 徹, 中西一浩, 坂本篤裕: 幻肢痛に対する静脈内エルカトニンの効果. 日本ペインクリニック学会誌 2007; 14(4):406-409.
- (4) 座談会:
- 1) 坂本篤裕, 加藤孝澄 1), 稲垣喜三 2), 鈴木利保 3), 川村隆枝 4)(1) 浜松医科大学麻酔・蘇生科, 2) 鳥取大学麻酔・集中治療科, 3) 東海大学麻酔科, 4) 仙台医療センター麻酔科): セボフルラン麻酔へのレミフェンタニルの活用. 臨床麻酔 2007; 31(11):1749-1757.

著 書

- 1) 竹田晋浩: [分担]NPPV. 人工呼吸療法 (沼田克雄, 安本和正), 2007; pp 285-290, 秀潤社.
- 2) 竹田晋浩: [分担] 急性呼吸不全 : 心原性肺水腫. NPPV (非侵襲的陽圧換気療法) のすべて (石川悠加), 2007; pp 193-195, 医学書院.
- 3) 本郷 卓: [分担] 心原性肺水腫に対する NPPV. 看護技術, 2007; pp 32-35, メヂカルフレンド社.
- 4) 坂本篤裕: [分担] 麻酔科の輸液. 輸液のすべて : 基本から実際まで (北岡建樹, 五十嵐隆, 飯野靖彦, 河原克雅), 2007; pp 317-322, 東京医学社.
- 5) 竹田晋浩: [分担] 麻酔科医と救急医療. 麻酔科学レビュー 2008(天羽啓介), 2008; pp 200-203, 総合医学社.
- 6) 坂本篤裕: [分担] 心血管作動薬. 麻酔科学レビュー 2008(天羽敬祐), 2008; pp 18-24, 総合医学社.
- 7) 本郷 卓, 田中啓治 1)(1) 日本医科大学付属病院 集中治療室): [分担]Q93 慢性心不全患者の輸液管理とケアは , どうしたらよいの?. 輸液管理とケア Q&A : こんなとき , どうしたらよいの? (編集 岡元和文), 2008; pp 200-201, 総合医学社.
- 8) 坂本篤裕: [翻訳] 手術室以外での麻酔. Miller's 麻酔科学 (武田純三), 2007; pp 2037-2056, メディカルサイエンスインターナショナル.

学会発表

(1) 一般講演:

- 1) 益田 律子 1), 井上 哲夫 1), 輪嶋 善一郎 1), 加藤 信也 1), 中島 祐史 1), 坂本 篤裕 (1) 千葉北総病院麻酔科): 帝王切開術に対するオピオイド添加高比重ブピバカイン脊髄も膜下麻酔におけるブピバカイン用量と下肢運動遮断時間. (社) 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.6.
- 2) 中里桂子, 寺嶋克幸, 金 徹, 鈴木規仁, 坂本篤裕: 超音波診断装置は末梢静脈確保にも有用. 第 18 回日本臨床モニター学会総会, 2007.4.

- 3) 三宅直樹 1), 原 正高 1), 鈴木健一 1), 吉田 晃 1), 坂本篤裕 (1) 付属病院 ME 部): 放置時間における除細動出力の検討. 第 15 回東京都臨床工学会学術大会, 2007.4.
- 4) 竹森 健, 小林克也, 三井誠司, 中里桂子, 吉田結富子, 坂本篤裕: セボフルレンはラット肺における ET-1 遺伝子発現に影響を与える. (社) 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.5.
- 5) 小林克也, 竹森 健, 坂本篤裕: セボフルレンは麻酔中サーカディアン遺伝子の発現を抑制し, そして覚醒後も抑制し続ける. (社) 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.5.
- 6) 鈴木規仁, 金 徹, 坂本篤裕: 自己骨髄細胞による血管再生療法における周術期管理. (社) 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.5.
- 7) 中西一浩, 竹田晋浩, 寺嶋克幸, 河原裕泰, 竹森 健, 坂本篤裕: 腹部大動脈瘤人工血管置換術における心拡張機能の変動: 組織ドップラー法を用いた心機能評価. (社) 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.5.
- 8) 加藤信也 1), 益田律子 1), 井上哲夫 1), 坂本篤裕 (1) 千葉北総病院麻酔科): 星状神経節への局所麻酔薬注入及び直流通電療法は局所麻酔薬注入単独よりも上肢痛に対する除痛効果が高い. (社) 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.5.
- 9) 岸川洋昭, 坂本篤裕, 安藤岳史, 川口宏志, 坪光祥晃: プロポフォール LCT によるヒト好中球アポトーシスへの影響. (社) 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.5.
- 10) 安藤岳史, 坪光祥晃, 幸田修典, 岡部 格, 古市昌之, 坂本篤裕: 気管支喘息の既往のない患者において, プロポフォールによる導入後, 気管支痙攣の症状を呈し, 挿管するも換気不能となり, 心停止も覚悟した 1 症例. (社) 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.5.
- 11) 金 徹, 中里桂子, 吉田結富子, 三井誠司, 杖下隆哉, 坂本篤裕: 閉鎖循環下抗癌剤灌注療法におけるシスプラチン腎機能障害に対するカルペリチドの保護効果. (社) 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.5.
- 12) 古市昌之, 赤田信二, 岡部 格, 山梨義高, 竹田晋浩, 坂本篤裕: 人工股関節置換術後に発症した脂肪塞栓症の 1 症例. (社) 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.5.
- 13) 腹 正高 1), 三宅直樹 1), 鈴木健一 1), 吉田 晃 1), 金 徹, 村田 智 2), 田島廣之 2), 坂本篤裕 (1) 付属病院 ME 部, 2) 放射線医学): 当院における「NIPP」の体外循環法. 第 17 回日本臨床工学会学術大会, 2007.5.
- 14) 佐藤千代, 金 徹, 伊藤公亮, 坂本篤裕: 腹部外科緊急手術における重症度の予測. (社) 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.6.
- 15) 幸田真理子 1), 水野幸一 1), 飯野 治 1), 石原之法 1), 山田光輝 1), 坂本篤裕 (1) 多摩永山病院麻酔科): 当院における巨大前立腺肥大に対する剥離 TUR-P の麻酔管理. (社) 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.6.
- 16) 寺嶋克幸, 杖下隆哉, 坂本篤裕: 人工赤血球による輸液蘇生の臓器酸素可能と炎症反応の可能性. (社) 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.6.
- 17) 西川晃司 1), 幸田真理子 1), 山田光輝 1), 水野幸一 1), 坂本篤裕 (1) 多摩永山病院麻酔科): 硬性曲型喉頭鏡が予期せぬ挿管困難症の頭頸部軟部組織の形態変化に及ぼす影響. (社) 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.6.
- 18) 輪嶋善一郎 1), 今永和幸 1), 志賀俊哉 1), 斉藤 剛 1), 井上哲夫 1), 坂本篤裕 (1) 千葉北総病院麻酔科): ランジオロールは vital capacity rapid inhalation induction の意識消失時間を短縮させる: 第 2 報. (社) 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.6.
- 19) 加藤信也 1), 益田律子 1), 井上哲夫 1), 坂本篤裕: 星状神経節への局所麻酔薬注入及び直流通電は局所麻酔薬注入単独よりも慢性上肢痛に対する除通行かが高い. 日本ペインクリニック学会第 41 回大会, 2007.7.
- 20) 岡部 格, 鈴木規仁, 岸川洋昭, 河原裕泰, 坂本篤裕: 当院麻酔科外来における gabapentin の使用経験. 日本ペインクリニック学会第 41 回大会, 2007.7.
- 21) 横塚 基, 佐藤千代, 河原裕泰, 坂本篤裕: デクスメトミジンの硬膜外投与の有効性の検討: 慢性絞扼性傷害モデルラットを用いて. 日本ペインクリニック学会第 41 回大会, 2007.7.
- 22) 山本裕介, 佐藤千代, 河原裕泰, 岸川洋昭, 鈴木規仁, 金 徹, 中西一浩, 坂本篤裕: 幻肢痛に対するエルカトニンの使用経験. 日本ペインクリニック学会第 41 回大会, 2007.7.
- 23) 小野頭人, 竹田晋浩, 赤田信二, 安藤岳史, 横塚 基, 三井誠司, 寺嶋克幸, 本郷 卓, 坂本篤裕: NPPV 施行患者におけるデクスメトミジンの鎮静効果. 第 29 回日本呼吸療法医学会学術集会, 2007.7.
- 24) 横塚 基, 細萱順一 1), 和田奈央 1), 山本 剛 1), 寺嶋克幸, 本郷 卓 1), 鈴木智恵子 1), 竹田晋浩 1), 田中啓治 1), 坂本篤裕 (1) 付属病院集中治療室): 集中治療室におけるインスリン投与プロトコールの効果と安全性について. 第 5 回周術期体液・代謝・侵襲研究会, 2007.8.

- 25) 中谷英彦, 杖下隆哉, 鈴木規仁, 寺嶋克幸, 坂本篤裕: 術中体位が原因と考えられる術後腕神経叢麻痺の 1 症例. 第 47 回 (社) 日本麻酔科学会東京・関東甲信越支部合同学術集会, 2007.9.
- 26) 小野顕人, 小林克也, 坂本篤裕: ポリーブ様声帯に対してエアウェイスコープを用いた自発呼吸下挿管を試みた 1 例. 第 47 回 (社) 日本麻酔科学会東京・関東甲信越支部合同学術集会, 2007.9.
- 27) 中里桂子, 鈴木規仁, 坂本篤裕: レミフェンタニル-セボフルラン麻酔中にシバリングを起こした 1 症例. 日本臨床麻酔学会第 27 回大会, 2007.10.
- 28) 吉田結富子, 寺嶋克幸, 坂本篤裕: Beckwith-Wiedemann syndrome の小児の麻酔経験. 日本臨床麻酔学会第 27 回大会, 2007.10.
- 29) 横山健至 1), 尾藤博保 1), 稲木敏一郎 1), 佐藤花代子 1), 島田洋一 1), 坂本篤裕 (1) 武蔵小杉病院麻酔科): 小児扁桃摘出術の周術期 SpO₂ の検討. 日本臨床麻酔学会第 27 回大会, 2007.10.
- 30) 大江裕美子, 寺嶋克幸, 幸田修典, 岸川洋昭, 坂本篤裕: 穿通胎盤患者の予定帝王切開の周術期管理 2 症例と文献的考察. 日本臨床麻酔学会第 27 回大会, 2007.10.
- 31) 中島祐史 1), 小野寺英貴 1), 輪嶋善一郎 1), 益田律子 1), 井上哲夫 1), 坂本篤裕 (1) 千葉北総病院麻酔科): 冠縮性狭心症患者に対する電気痙攣療法の麻酔経験. 日本臨床麻酔学会第 27 回大会, 2007.10.
- 32) 中谷英彦, 杖下隆哉, 坂本篤裕: 覚醒下開頭術にレミフェンタニルを使用した 1 症例. 日本臨床麻酔学会第 27 回大会, 2007.10.
- 33) 岡部 格, 佐藤千代, 河原裕泰, 岸川洋昭, 中西一浩, 坂本篤裕: 横行結腸癌の仙骨転移に対し閉鎖循環下骨盤内抗癌剤還流療法 (NIPP) が有効であった 1 例. 日本臨床麻酔学会第 27 回大会, 2007.10.
- 34) 稲木敏一郎 1), 尾藤博保 1), 佐藤花代子 1), 横山健至 1), 山本英明 1), 島田洋一 1), 坂本篤裕 (1) 武蔵小杉病院麻酔科): 術中から塩酸オルブリンを用いた食道癌手術の術後血清ビリルビン値の推移. 日本臨床麻酔学会第 27 回大会, 2007.10.
- 35) 坪光祥晃, 三井誠司, 寺嶋克幸, 竹田晋浩, 坂本篤裕: 大腸穿孔後の白血球減少症が遷延した 1 症例. 第 14 回外科侵襲とサイトカイン研究会, 2007.12.
- 36) 土屋直俊 1), 三宅直樹 1), 鈴木健一 1), 坂本篤裕 (1) 付属病院 ME 部): ペースメーカー・ICD 業務における問題と対策. 第 22 回心臓血管外科ウィンターセミナー, 2008.1.
- 37) 中里桂子, 佐藤千代, 寺嶋克幸, 竹田晋浩 1), 坂本篤裕 (1) 日本医科大学付属病院集中治療室): ASA classification of physical status 3E 以上の緊急手術患者における予後予測因子の統計学的検討: 第 2 報. 第 35 回日本集中治療医学会学術集会, 2008.2.
- 38) 設楽敬朗 1), 清水 淳 2), 幸田修典 2), 後藤吉次 2), 松村純也 3), 坂本篤裕 (1) 聖霊佐倉市民病院麻酔科, 2) 榊原記念病院麻酔科, 3) 大和清和病院麻酔科): 開心術後創感染における危険因子についての検討. 第 35 回日本集中治療医学会学術集会, 2008.2.
- 39) 三井誠司 1), 安藤岳史, 横塚 基, 本郷 卓 1), 竹田晋浩 1), 田中啓治 1), 坂本篤裕 (1) 付属病院集中治療室): 胸腹部人工血管置換術後, 眼球陥凹を呈した 1 例. 第 35 回日本集中治療医学会学術集会, 2008.2.
- 40) 山梨義高, 古市昌之, 岡部 格, 赤田信二, 本郷 卓 1), 竹田晋浩 1), 田中啓治 1), 坂本篤裕 (1) 付属病院集中治療室): 肝硬変を合併した食道癌患者が術後に深部静脈血栓症を合併して死亡した 1 例. 第 35 回日本集中治療医学会学術集会, 2008.2.
- 41) 古市昌之, 竹田晋浩 1), 吉田結富子, 中里桂子, 守 真輝, 山梨義高, 安藤岳史, 赤田信二, 本郷 卓 1), 坂本篤裕 (1) 付属病院集中治療室): 周術期陰圧性肺水腫に対する非侵襲的陽圧換気法. 第 35 回日本集中治療医学会学術集会, 2008.2.
- 42) 安藤岳史, 小野顕人, 横塚 基, 三井誠司 1), 本郷 卓 1), 竹田晋浩 1), 坂本篤裕 (1) 付属病院集中治療室): 頻回な肺動リクルートメントに反応せず, 側臥位で血液ガスの改善を認めた 1 症例. 第 35 回日本集中治療医学会学術集会, 2008.2.
- 43) 野口裕幸 1), 青木郁香 1), 久志本成樹 2), 山本保博 2), 坂本篤裕 (1) 付属病院 ME 部, 2) 付属病院高度救命救急センター): 当院高度救命救急センターにおける経皮的心肺補助装置 (PCPS) を用いた補助人工心肺 (ECMO) の検証. 第 35 回日本集中治療医学会学術集会, 2008.2.
- 44) 横塚 基, 細萱順一 1), 和田奈央 1), 山本 剛 1), 本郷 卓 1), 竹田晋浩 1), 田中啓治 1), 坂本篤裕 (1) 付属病院集中治療室): 集中治療室におけるインスリン投与プロトコールの効果と安全性の検討. 第 35 回日本集中治療医学会学術集会, 2008.2.

- 45) 古市昌之, 赤田信二, 本郷 卓 1), 竹田晋浩 1), 坂本篤裕 (1) 付属病院集中治療室): 塩酸デクスメドミジンにより薬剤熱を生じた 1 例: 塩酸デクスメドミジンは高体温を起こしうる?. 第 35 回日本集中治療医学会学術集会, 2008.2.
 - 46) 間瀬大司, 中西一浩, 竹田晋浩, 坂本篤裕: 心不全合併消化管手術における h-ANP の使用経験. 第 2 回周術期心不全管理カンファレンス, 2008.2.
 - 47) 岡部 格, 山梨義高, 古市昌之, 赤田信二, 本郷 卓, 竹田晋浩, 坂本篤裕: 塩酸デクスメドミジンによると思われる薬剤熱を生じた 1 例. 第 35 回日本集中治療医学会学術集会, 2008.2.
 - 48) 篁 武郎: 慢性腹痛の 1 症例: 慢性虫垂炎と診断されて手術された症例. 日本東洋医学会山形県部会, 2008.3.
- (2) 特別講演:
- 1) 坂本篤裕: 短時間作用型 1 遮断薬の使い方. 会津医学会学術講演会, 2007.6.
 - 2) 坂本篤裕: 周術期管理における短時間作用型 1 遮断薬の役割. 山形循環呼吸器・麻酔・集中治療研究会, 2007.9.
 - 3) 坂本篤裕: 周術期と 1 遮断薬: 心保護効果への期待. 名古屋周術期心臓外科フォーラム, 2007.11.
 - 4) 坂本篤裕: 遮断薬による新たな治療戦略. 北撰 ブロッカー研究会, 2007.11.
- (3) シンポジウム:
- 1) 本郷 卓 1), 三井 誠司 1), 小野 顕人, 安藤 岳史, 横塚 基, 古市 昌之, 赤田 信二, 竹田 晋浩 1), 田中 啓治 1), 坂本 篤裕 (1) 付属病院集中治療室): 術後呼吸不全に対し NPPV を施行した 126 症例の予後調査 (NPPV はどのように用いられているか). 第 35 回日本集中治療医学会学術集会, 2008.2.
 - 2) Takeda S: Treatment strategy for ARDS with multiple organ failure (Acute respiratory failure and remote organ damage). The 8th joint scientific congress of the Korean Society of Critical Care Medicine and Japanese Society of Intensive Care Medicine(Tokyo), 2008.2.
 - 3) 中西一浩, 清水 淳 1), 結城禎一 2), 池崎弘之 3), 坂本篤裕 (1) 榊原記念病院麻酔科, 2) 三井記念病院麻酔科, 3) 大和清和病院麻酔科): 心臓麻酔 (レミフェンタニルは麻酔法を変えたか?). 日本臨床麻酔学会第 27 回大会, 2007.10.
- (4) パネルディスカッション:
- 1) 竹田晋浩: Noninvasive ventilation の有用性 (日本麻酔科学会との共同企画). 第 47 回日本呼吸器学会, 2007.5.
 - 2) 野口裕幸 1), 坂本篤裕 (1) 付属病院 ME 部): ICU におけるチーム医療: ME の立場より. 第 16 回日本集中治療医学会関東甲信越地方会, 2007.8.
 - 3) 松田範子 1), 秋丸琥甫 2), 木山輝郎 2), 宮本正章 3), 徳永 昭 4), 森山雄吉 4), 坂本篤裕, 田尻 孝 1)(1) 付属病院 ME 部, 2) 付属病院外科, 3) 付属病院内科・再生医療科, 4) 武蔵小杉病院消化器病センター): 当施設における四肢末端難治性潰瘍の治療 (骨軟部組織損傷・感染症に対する高気圧酸素治療). 第 42 回日本高気圧環境・潜水医学会, 2007.11.
- (5) ワークショップ:
- 1) 坂本篤裕: 麻酔 (診療) 選択に関する見解と査定上の問題点 (麻酔・ペインクリニックと麻酔診療). 日本臨床麻酔学会第 27 回大会, 2007.10.
- (6) セミナー:
- 1) 坂本 篤裕: 安全管理と医療経済. 沖縄リスクマネジメントセミナー 2007, 2007.4.
 - 2) 坂本篤裕: IVR 診療における緊急対策と救急処置. 第 36 回日本 IVR 学会総会, 2007.5.
 - 3) 坂本篤裕: より安全な中心静脈カテーテル留置の環境を求めて: CV センター導入の背景と運営について. 医療の質・安全学会第 2 回学術集会, 2007.11.
 - 4) 坂本篤裕: 1 ブロッカーの周術期管理: 心保護効果を中心とした新たな展望. 第 3 回千葉西地区医療連携セミナー, 2007.11.
 - 5) 坂本篤裕: Short Acting 1 blocker up to date. 第 14 回外科侵襲とサイトカイン研究会, 2007.12.

臨床医学

麻酔科学講座

[武蔵小杉病院麻酔科]

研究概要

当施設では産科麻酔，食道がん，肺がんなどの開胸手術，また大血管手術において臨床研究を行っている．1) 周術期低体温は，術後の感染の増加など患者の転帰に影響するが比較的大量の輸液を行う帝王切開において，加温輸液の母体と新生児の体温に関して検討した．2) 血清ビリルビン値やトランスアミナーゼ値の上昇は，食道がん手術後に頻発する現象である．術中ならびに，術後に PDEIII 阻害薬である塩酸オルプリノンを投与し，その効用を検討した．3) 腹部大血管手術後の心機能の低下の原因を検討した．4) ダブルルーメンチューブのトラブルは，肺がん手術など分離肺換気施行時において頻回に見受けられる．その，チューブトラブルを回避する工夫を考案し，検討した．その他，症例報告を多数報告した．当施設は，引き続き，臨床研究，臨床報告を中心に研究活動を行っていく．

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) Bitoh H1), Nakanishi K1), Takeda S1), Kim C1), Mori M1), Sakamoto A1)(1)Department of Anesthesia and Pain Control, Graduate school of Medicine, Nippon Medical School): Repair of an Infrarenal Abdominal Aortic Aneurysm is Associated with Persistent Left Ventricular Diastolic Dysfunction. J Nippon Med Sch 2007; 74(6):393-401.
- 2) Suzuki M, Haraguchi S1), Kitamura A2), Shimada Y, Sakamoto A3)(1)Department of Surgery, Nippon Medical School Musashi Kosugi Hospital, 2)Saitama Medical University International Medical Center, 3)Department of Anesthesia and Pain Control, Graduate School of Medicine, Nippon Medical School): Inflation of the Distal Cuff by Saline Reduces the Incidence of Malposition of the Bronchial Tube During Lung Separation in Patients Receiving Nitrous Oxide. Journal of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia 2007; 21(6):838-842.

学会発表

(1) 一般講演:

- 1) Suzuki M, Haraguchi S1), Bitoh H, Shimada Y(1)Department of Surgery, Nippon Medical School Musashi Kosugi Hosupital): Effect of Head Positioning on Non-Styleted Tracheal Intubation with Double-Lumen Bronchial Tube. ASA(San Francisco), 2007.10.
- 2) 横山健至, 鈴木万三, 島田洋一, 尾藤博保, 坂本篤裕 1)(1) 付属病院麻酔科): 帝王切開における母体体温低下に対する加温輸液の効果. 日本麻酔科学会, 2007.5.
- 3) 稲木敏一郎, 尾藤博保, 佐藤花代子, 横山健至, 山本英明, 島田洋一, 坂本篤裕 1)(1) 付属病院麻酔科): 術中から塩酸オルプリノンを用いた食道癌手術の術後血清ビリルビン値の推移. 日本臨床麻酔科学会, 2007.5.
- 4) 横山健至, 尾藤博保, 稲木敏一郎, 佐藤花代子, 島田洋一, 坂本篤裕 1)(1) 付属病院麻酔科): 小児扁桃腺摘出術の周術期 SpO₂ の検討. 日本臨床麻酔科学会, 2007.10.

臨床医学

麻酔科学講座

[多摩永山病院麻酔科]

研究概要

本年度もペインクリニック領域において、治療困難な痛みに対する新しい神経ブロック法を考案し検討した。また筋膜痛症候群、顎関節症、交感神経系障害を対象にしたブロックに重点を置き、基礎的研究を継続して行なっている。さらに難治性疼痛に対してはエピドラスコピー、神経根ブロック、高周波熱凝固、硬膜外への脊髄刺激電極の植え込みや持続薬液注入ポートの埋め込みを施行するなど、積極的な治療を行い手技の向上に努めている。手術室においては、気管挿管時の咽頭喉頭の位置および形状を解析し、それに基づいて新たな喉頭鏡の開発を行なった。

研究業績

論文

(1) 研究報告書:

- 1) Yamashiro M1), Tazaki H1), Yamada K, Yasuda A1), Hashimoto S2)(1)Anesthesiology, The Nippon Dental University, School of Life Dentistry At Tokyo, 2)Research Center for Odontology, The Nippon Dental University, School of Life Dentistry At Tokyo): Distribution of ropivacaine after the injection to palatal mucosa in the rat. Regional Anesthesia and Pain medicine 2007; 32(5):pp 167-pp 167.

学会発表

(1) 一般講演:

- 1) Yamashiro M1), Tazaki H1), Yamada K, Yasuda A1), Hashimoto S2)(1)Anesthesiology, The Nippon Dental University, School of Life Dentistry At Tokyo, 2)Research Center for Odontology, The Nippon Dental University, School of Life Dentistry At Tokyo): Distribution of ropivacaine after the injection to palatal mucosa in the rat. XXVI Annual ESRA Congress(Barcelona, Spain), 2007.9.
- 2) 西川晃司, 幸田真理子, 山田光輝, 水野幸一, 坂本篤裕 1)(1) 日本医科大学麻酔科学): 硬性曲型喉頭鏡が予期せぬ挿管困難症の頭頸部軟部組織の形態変化に及ぼす影響. 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.6.
- 3) 幸田真理子, 水野幸一, 飯野 治, 石原之法, 山田光輝, 坂本篤裕 1)(1) 日本医科大学麻酔科学): 当院における巨大前立腺肥大症に対する, 剥離 TUR-P(経尿道的前立腺剥離摘出術:TUDP) の麻酔管理. 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.6.
- 4) 今井洋史, 西川晃司, 小林徳行, 石原之法, 山田光輝: Landiolol, Verapamil, および Digoxin にてレートコントロール不能であった発作性心房細動の 1 例. 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.6.
- 5) 水野幸一, 西川晃司, 内木亮介, 山田光輝: 経皮的ラジオ波焼灼術中に急激な体温上昇を来した 1 例. 日本麻酔科学会東京関東甲信越支部第 47 回合同学術集会, 2007.9.

臨床医学

麻酔科学講座

[千葉北総病院麻酔科]

研究概要

マンパワー不足により日々多忙な診療活動に追われ、なかなか腰を据えた研究活動ができないのは残念である。勢い、臨床研究に限らざるを得ない状況にあるが、それだけに日常臨床に直結したテーマが取り上げられ、成果をあげてきている。気道管理、疼痛管理、薬物およびモニタリング、麻酔法などを課題とした研究が継続して行われているところである。気道管理では、井上教授、後藤助教らが気道評価ひいては気管挿管困難の予測法を模索中であり、X線写真からの実用的な評価法を見出しつつある。さらに、新たな気道確保器具の臨床評価も全員で積極的に行っているところである。疼痛管理では、ペインクリニックでの診療や緩和医療を通して、薬効の評価や術後鎮痛に関した手法、薬物の選択などにつき益田准教授や加藤助教が中心に研究を進めている。また、麻酔中におけるベータブロッカーや麻薬類などの薬物の作用、使用法、さらに術前の身体状態による生理的影響の相違などにつき、最新のモニタリング装置を利用した多彩な研究が輪嶋講師、小澤、齋藤助教などにより行われている。麻酔法に関しては、中島助教らが修飾電気痙攣療法につき、その有効性を高めるための薬物の選択、使用法など新たな知見を見出した。いずれも、継続性をもって研究を進める趨勢にあり、内容の拡充と新たな知見に向けた活動が期待される。来年度に向け、有能な新人の加入もあり、研究活動面全般にさらに活発化することも合わせて期待される。

研究業績

論文

(1) 原著:

- 1) Shiga T1), Apfel C2), Wajima Z, Ohe Y1)(1)Department of Anesthesiology, Toho University School of Medicine, Tokyo, Japan , 2)Department of Anesthesiology and Preoperative Medicine, University of San Francisco, San Francisco): Influence of intraoperative conversion from off-pump to on-pump coronary artery bypass grafting on costs and quality of life - a cost-effectiveness analysis. Journal of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia 2007; 21(6):793-799.
- 2) Gotou M, Inoue T: Application of the Truview EV02 optical laryngoscope to patients with cervicalspinal disease. Journal of Anesthesia 2007; 21:295-296.
- 3) Shiga T1), Wajima Z, Ohe Y1)(1)Second Department of Anesthesiology, Toho University School of Medicine, Tokyo): Is operative delay associated with increased mortality of hip fracture patient s: Systematic review, meta-analysis, and meta-regression: [Le delai operatoire est-il associe a une mortalite accrue chez les patients atteints d'une fractu re de la hanche: Synthese systematique, meta-analyse et meta-regression]. Can J Anaesth 2008; 55(3):146-154.

(2) 総説:

- 1) 井上哲夫: 病棟における気管挿管 (症例検討: 病棟における気道確保と緊急気管挿管). LiSA 2007; 14(4):340-343.
- 2) 益田律子: 硬膜外腔, くも膜下腔, 脊髄の解剖: 最近の話題. LiSA 2007; 14(別冊):98-105.
- 3) 加藤信也, 益田律子: 大腿神経ブロックについて. 臨床麻酔 2007; 31(9):1499-1500.
- 4) 益田律子: 神経障害性疼痛: 緩和医療 KEY WORD. 緩和医療学 2008; 10(1):94-96.

(3) 症例報告:

- 1) 益田律子, 井上哲夫, 加藤信也: 遠隔部位の骨転移痛に持続くも膜下鎮痛法が奏功した 3 症例. ペインクリニック 2007; 28(10):1367-1373.

著書

- 1) 益田律子: [分担] 高齢者の麻酔に欠かせないスキル「術後鎮痛」. 日常診療に役立つ「高齢者の周術期管理」(並木昭義編), 2007; pp 203-216, 真興交易(株)医書出版部.
- 2) 益田律子: [分担] 長期硬膜外・くも膜下鎮痛: 管理上のコツ. ペインクリニックの痛み診療のコツと落とし穴(宮崎東洋編), 2007; pp 174-176, 中山書店(東京).

- 3) 益田律子: [分担] 急性期重症外傷性疼痛治療のコツ. ペインクリニックの痛み診療のコツと落とし穴 (宮崎東洋編), 2007; pp 326-328, 中山書店 (東京).
- 4) 井上哲夫: [翻訳] 呼吸系モニタリング. ミラー麻酔科学 (武田純三), 2007; pp 1119-1153, メディカル・サイエンス・インターナショナル.

学会発表

(1) 一般講演:

- 1) Imanaga K1), Wajima Z, Kosaka M1), Suzuki T1), Serada K1)(1)Department of Anesthesia, Showa University Northern Yokohama Hospital, Yokohama, Japan): Investigation of the Optimal Time for Fentanyl Administration on Propofol-Induced Injection Pain. American Society of Anesthesiologists 2007 Annual Meeting(San Francisco, California, USA), 2007.10.
- 2) Wajima Z, Imanaga K1), Shiga T2), Inoue T, Sakamoto A3)(1)Department of Anesthesia, Showa University Northern Yokohama Hospital, 2)Department of Anesthesiology, Toho University Ohashi Medical Center, 3)Department of Anesthesiology, Nippon Medical School): Landiolol shortens the time to loss of consciousness by vital capacity rapid inhalation induction: the second report.. American Society of Anesthesiologists 2007 Annual Meeting(San Francisco, California, USA), 2007.10.
- 3) Shiga T1), Wajima Z, Imanaga K2), Ohe Y1)(1)Department of Anesthesiology, Toho University Ohashi Medical Center, 2)Department of Anesthesia, Showa University Northern Yokohama Hospital): Is operative delay associated with increased mortality of hip fracture patient s?. American Society of Anesthesiologists 2007 Annual Meeting (San Francisco, California, USA), 2007.10.
- 4) 加藤信也, 益田律子, 井上哲夫: 星状神経節への局所麻酔薬注入及び直流通電療は局所麻酔薬注入単独よりも上肢痛に対する除痛効果が高い Stellate ganglion block followed by direct current relieves upper limb pain more effectively than stellate ganglion block alone. 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.6.
- 5) 益田律子, 井上哲夫, 輪嶋善一郎, 加藤信也, 中島裕史, 坂本篤裕 1)(1) 麻酔科学): 帝王切開術に対するオピオイド添加高比重ブピバカイン脊髄も膜下麻酔におけるブピバカイン用量と下肢運動遮断時間. 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.6.
- 6) 輪嶋善一郎, 今永和和幸 1), 志賀俊哉 2), 齋藤 剛, 井上哲夫, 坂本篤裕 3)(1) 昭和大学横浜市北部病院麻酔科, 2) 東邦大学大橋医療センター麻酔科, 3) 日本医科大学付属病院麻酔科): ランジオロールは vital capacity rapid inhalation induction の意識消失時間を短縮させる: 第 2 報. 日本麻酔科学会第 54 回学術集会 (札幌), 2007.6.
- 7) 今永和和幸 1), 輪嶋善一郎, 鈴木尚志 1), 小松大芽 1), 下山裕子 1), 世良田和幸 1)(1) 昭和大学横浜市北部病院麻酔科): プロポフォル注入痛に対するフェンタニル至適投与時間の検討. 日本麻酔科学会第 54 回学術集会 (札幌), 2007.6.
- 8) 益田律子, 井上哲夫, 輪嶋善一郎, 加藤信也, 中島裕史, 坂本篤裕 1)(1) 麻酔科学): 帝王切開術に対するオピオイド添加高比重ブピバカイン脊髄も膜下麻酔におけるブピバカイン用量と下肢運動遮断時間. 日本麻酔科学会第 54 回学術集会, 2007.6.
- 9) 加藤信也, 益田律子, 井上哲夫, 坂本篤裕 1)(1) 麻酔科学): 星状神経節への直流通電および局所麻酔薬注入療法は局所麻酔薬注入単独よりも慢性上肢痛に対する除痛効果が高い. 日本ペインクリニック学会第 41 回大会, 2007.7.
- 10) 益田律子, 井上哲夫, 加藤信也: 脊髄損傷痛 11 症例における臨床像と薬物療法の効果. 日本ペインクリニック学会第 41 回大会, 2007.7.
- 11) 中島祐史, 小野寺英貴, 輪嶋善一郎, 益田律子, 井上哲夫, 坂本篤裕 1)(1) 麻酔科学): 冠攣縮性狭心症患者に対する電気痙攣療法の麻酔経験. 日本臨床麻酔学会第 27 回大会, 2007.10.
- 12) 加藤信也: 自律神経と良導絡- 副交感神経機能は良導絡チャートに影響を及ぼすか?. 第 59 回日本良導絡自律神経学会学術大会, 2007.10.
- 13) 後藤真弓, 中島裕史, 井上哲夫: 頸部側面レントゲン所見による喉頭展開困難の予想. 第 54 回日本麻酔学会総会, 2007.

(2) 特別講演:

- 1) 加藤信也: 自律神経と良導絡- 副交感神経機能は良導絡チャートに影響を及ぼすか?. 日本良導絡自律神経学会, 2007.9.
- 2) 益田律子: 「脊髄損傷性疼痛の最近の話題」及び「神経障害性疼痛ガイドライン: 欧州・カナダの新基準について」. 第 6 回難治性疼痛研究会 (神戸), 2007.9.

(3) 招待講演:

- 1) 益田律子: 癌の痛みの治療の誤解を解く: 臨床薬理学的アプローチ? 依存, 精神障害, 有効限界などの点を中心に. 第 1 回千葉県在宅医懇話会研修会, 2007.12.

(4) 教育講演:

- 1) 益田律子: 病棟で実践する硬膜外鎮痛法・くも膜下鎮痛法. 第 27 回日本臨床麻酔学会, 2007.10.

(5) シンポジウム:

- 1) 益田律子: 安全管理委員会シンポジウム医師の説明義務. 第 41 回日本ペインクリニック学会大会, 2007.7.

(6) パネルディスカッション:

- 1) 井上哲夫: 硬膜外穿刺 (主題: 硬膜外麻酔スタンダード). 日本臨床麻酔学会第 27 回大会, 2007.10.

(7) 追加分一般講演:

- 1) 益田律子, 井上哲夫, 加藤信也: 慢性期脊髄損傷性疼痛 5 症例に対する薬物療法の有効性. 第 37 回日本慢性疼痛学会, 2007.2.